

Central Bible College

中央聖書神学校 同窓会会則

- (名 称)
第 一 条 本会は中央聖書神学校同窓会（略称 CBC同窓会）と称する。
- (事 務 所)
第 二 条 本会の事務所を、中央聖書神学校内に置く。
- (目 的)
第 三 条 本会は、会員相互の親睦をはかり、中央聖書神学校の発展のために寄与することを目的とする。
- (事 業)
第 四 条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
①総会の開催
②機関紙「漁人」および「会員名簿」の発行
③その他、本会の目的を達成するための活動
- (会 員)
第 五 条 本会は、次の会員をもって組織する。
① 正会員…正会員は、本校の卒業生とする。
② 賛同会員…賛同会員は、本会の趣旨に賛同した本教団の教職および教職夫人とする
- (会 費)
第 六 条 本会の会費は、年額 500 円とする。
- (役 員)
第 七 条 本会の役員および任期は、次のとおりとする。
① 役員は、会長、書記、会計とし、総会において各 1 名づつを選出する。
② 役員任期は、それぞれ、3 年とする。但し、再選を妨げない。
- (会 議)
第 八 条 本会の会議は、総会および役員会とする。
① 総会は、年一回会長が召集し、開催する。
② 役員会は、随時会長が必要と認めた時に開催する。
- (会 計)
第 九 条 本会の会計および会計年度は、次のとおりとする。
① 本会の会計は、会費、献金、その他をもってこれにあてる。
② 本会の会計年度は、1 月 1 日～12 月 31 日とする。

付則…本会会則は、1992 年 3 月 3 日から施行する。

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

中央聖書神学校同窓会

沿革

1929 年秋、東京都北区滝野川の神召教会におけるリバイバルが発端となって、多くの献身志願者が起こされたため、この人たちを養成するために神召教会の会堂の一隅に、聖霊神学院が開設されました。これが今日の中央聖書神学校の前身です。そして各地に誕生したペンテコステの群れに聖霊神学校は有能な知的・霊的指導者を送り出す使命を果たしてきました。

教会の受難の時代といわれる第二次大戦時に、学校は一時的閉鎖を余儀なくされました。しかし、戦後の1948年3月再開され、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団は創立と同時に聖書学校開設を決議し米国アッセンブリー教団の援助により、1949年10月には豊島区駒込の現在地に校舎が竣工しました。聖霊神学院を吸収合併して中央聖書学校が開校されたのは翌年の1950年でした。

その後、1974年には教団本部改築に伴い、チャペル、事務室、教室などを擁する校舎が完成しました。1978年には学制を改正し四年制の Central Bible College となりました。

1987年関西分校開設、翌年関東分校が開校しました。1989年に研究科が設置され生涯教育プログラムの一環として、国内外の講師による M.A. レベルの授業が教職対象に始められました。

1992年、初代校長弓山喜代馬師が引退され、佐布正義師が二代目校長として就任されました。42年の長きにわたって校長を務められた弓山師には、名誉校長の称号が贈られました。内実が整った中央聖書学校は1997年にアジア神学協議会(ATA)の認定審査を受け、神学士(B.Th.)の学位が認定されました。これまでの総会でキャンパスの移転が論議されましたが、同年の臨時総会で移転問題に終止符が打たれ、駒込にとどまることになりました。1998年、北野耕一師が佐布師に代わって第三代校長に就任、翌年教団本部、中央聖書学校改築第一期工事が完成、学生寮、食堂、舎監住宅の新築竣工式が行われました。そして、同年中央聖書学校は中央聖書神学校(CBC)に改名されました。

2000年には図書館、チャペル、教室、教団の宿泊棟が完成、5月に竣工式、献堂式、感謝聖会がもたれました。2004年、北野師に代わって菊山和夫師が第四代校長に就任。2005年、ろう者教職制度導入の総会決議を受けてろう者聖書学校が開校されました。2006年には四年制を三年制に変更し、新しいカリキュラムによる授業が始められました。2008年北野耕一主任のもとインターネットによる通信科が開校され、7名の入学生が受講をはじめました。

2010年菊山師に代わって、北野師が第五代校長に就任、2011年3月8日の卒業式には、第一期通信科卒業生4名が卒業しました。同じ週の11日東日本大震災が発生、教団災害対策本部の指示のもと、学校をあげて支援活動に参加しました。2012年関西分校最後の卒業生を送り出し、分校は関東・関西とも閉校になりました。

2013 年の後援会総会において信徒が会長に選ばれ、学校理事の一員となったことは CBC にとって画期的なことでした。同年、しばらく休校していたろう者聖書学校が再開され、全国ろう者聖会で入学式が行われました。今まで別個に運営されていた本科と通信科を一体化し、同時に牧会学修士(M.Div.)課程を設置しました。その上で 2014 年にアジア神学協議会(ATA)の再審査をうけ、通信科、本科、研究科全ての教科が認定されました。教科課程が修士課程、学士課程、ディプロマ課程の三段階になり、神学生のニーズに合った神学教育を提供できるようになると共に、学生も国際化し中国系やブラジル系の学生が入学するようになりました。これは認定を受けたため入国管理局から学生ビザを取得することができるようになったからでもあります。通信科と本科の一体化はカリキュラムの整合性を必要とし、単位数の統一に踏み切りました。中央聖書神学校は教職の高齢化が進む教団の実情に応え、さらに多くの伝道者を輩出する責務を負っています。

- 1929 年 10 月 夜間聖霊学院として神召キリスト教会に発足。
- 1930 年 1 月 昼間の聖霊神学院となる。
校長：弓山喜代馬師
教師：C.F.ジュールゲンセン師、ジョン・ジュールゲンセン師
卒業生：菊地隆之助師、徳木力師 他
- 1941 年～1947 年 第二次世界大戦のため休講
- 1948 年 3 月 聖霊神学院再開。
- 1950 年 4 月 駒込に新校舎が完成し移転。
中央聖書学校として新発足。14 名が 3 期生として入学。
- 1974 年 5 月 新校舎落成。教団本部も同時に落成。
- 1978 年 4 月 4 年制の Bible College となる。
- 1999 年 11 月 学校名を中央聖書神学校に変更。
- 2000 年 2 月 新チャペル、図書館落成。
- 2008 年 3 月 卒業生の累計が 588 名
- 2012 年 3 月 卒業生の累計が 621 名
- 2015 年 3 月 卒業生の累計が 640 名。
- 2017 年 3 月 卒業生の累計が 659 名となる。